

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0192902104		
法人名	日総ふれあいケアサービス 株式会社		
事業所名	ふれあいの里 グループホーム 花みずき		
所在地	旭川市神居7条18丁目377		
自己評価作成日	平成25年10月16日	評価結果市町村受理日	平成25年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0192902104-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成25年10月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周りには自然が多く、鳥や虫の声に耳を傾けたり、隣接したスキー場で遊ぶ子供達を眺めたりと四季の移り変わりを楽しんでいただく事が出来ます。又、2階からは天気の良い日には大雪山連峰を一望でき、市内中心の街並みも眺めることが出来ます。花火大会開催の際は窓から見学することもできます。
今年度から新たに施設理念だけでなく、各ユニットでの理念を職員全員で考え、日常生活で利用者一人一人が想いのまま、自分らしいペースで暮らして頂けるよう、理念に沿ったケアを心がけています。生活リハビリを中心としたケアを行い、各利用者様の得意分野での活動を職員も一緒に楽しみながら提供する形で、日々取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ふれあいの里 グループホーム花みずき」は、旭川市郊外の自然豊かな環境に立地し、住宅街が隣接する所である。地域には古くから市民が利用していたスキー場があり、冬には多くの子供達の滑っている姿を窓越しに見たり、各家庭の花壇や公園の散策が出来る環境となっている。同法人では系列にグループホームや有料老人ホームもあり、合同で各種研修や勉強会が活発に行われ、職員教育にも力を注いでいる。今年は、各ユニットで理念について職員全員で話し合い、このホームにあった言葉をたくさん出ししてもらい、このグループホームならではのケア理念を掲げている。「その人らしさ」に重点を置いた、利用者にとって優しい理念となっている。職員は出来ることを見つけ利用者に続けてもらい、時間を見つけ寄り添う事でゆっくり話を聞く、そんな姿が訪問時にも多くみられた。今後も地域との交流や、利用者の安心を考えた運営を続けて行く事業所として期待出来る。

V. サービスの成果に関する項目(1階アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型を取り入れた理念に基づいて、地域の方々を交流を持っています。又、ホーム内に理念を掲示するだけでなく、各職員が理念カードを携帯するようにしています。	グループホーム「花みずき」の基本理念を基に、今年度は職員全員から利用者に関わる中で大切な言葉を沢山挙げ、「その人らしさ」を重点に置いた各ユニットのケア理念が出来ている。一人ひとりのペースで自分が出来る事に関わり、職員が利用者寄り添う事で実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、町内の行事にも参加させて頂き、交流を保っています。	町内会に加入する事で、地域との関わりを大切にしている。日常の散歩の時には挨拶を交わしたり、花壇や季節ごとの風物を感じる事で会話につなげている。2か所の町内から運営推進会議へ参加をして頂き、災害時の協力や助言をもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2か月に1回運営推進会議を開き、地域の方をお招きしてホームでの活動や認知症の方の様子等をお話しし、地域の方の認知症への理解が深まるよう努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センターの職員や町内会の役員。御家族様にご参加頂き、ホームの状況をご報告し、ご意見やご質問にお答えしながらそれらのご意見を活かしています。	運営推進会議は定期的開催している。家族会代表、地域包括職員、町内会長・福祉部長、知見者が参加し、ホームからの報告や出席者と意見交換を行う事で、運営に反映している。出席していない家族には、議事録を送付する事で出席の呼びかけや、情報の共有に努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故があれば、市へ報告し、介護保険に関する事で分からない事があれば相談するようにしています。又、包括支援センターでの研修会等にも参加しています。	行政の窓口には直接訪問し、問い合わせや相談、手続きで協力関係を築いている。運営推進会議後の報告や地域包括支援センター主催の研修や勉強会に積極的に出席し、他機関との交流や職員のステップアップに努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様、御家族様共に安心して生活が送れる様に拘束をしないケアに向けて、日々職員間で話し合っています。	身体拘束をしないケアについては、法人を中心とした勉強会が行われている。ホームでは、ケアの中で想定される拘束や言葉についての正しい理解を、会議やミーティングの中で常に検討している。止むを得ず利用者の危険回避の為の対応については、主治医や家族と十分に話し合う事で対処、解除についての検討もしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケアに対し、利用者様にも職員にもストレスにならない様、職員がつきっきりになることはなく、交代しながら利用者へ接するようにしています。又、職員ご自身の意思の向上の為に研修にも参加しております。		

ふれあいの里 グループホーム 花みずき

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し、参加できなかった職員への資料配布や参加職員の研修内容の発表等の時間を持ち、全職員へ伝わるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には十分に時間を取り、契約書の内容を読みながら分かりやすいように説明することを心がけています。又、契約後でも不安な点、不明な点があれば、随時対応することを利用者様、御家族様へお伝えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	いつでも気がるにご意見を頂ける雰囲気作りを心がけており、ホーム内のエレベーター前にもご意見箱を設置しています。	個人の様子を載せたお便りを毎月手書きの文面で送り、「花みずき便り」の通信も季節毎に発行し、家族から好評を得ている。面会時には話し易い雰囲気づくりに努め、要望を聞くようにしている。法人から家族にアンケートを送り、利用者にとってより良いホームづくりを話し合っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見、提案にもしっかり耳を傾けるよう心がけ、月1回のミーティングの際にも職員の意見や提案を聞く機会を設けています。	各ユニット毎に月1回ミーティングを開催している。居室担当者がアセスメントを行いモニタリングする事で、全員で状況を確認話し合っている。法人の担当者は月1回ホームを訪問し、職員と直接話す事で相談や要望に応えている。キャリアアップについての応援も検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全職員がスキルアップできるよう、研修への参加は交代で行けるように心がけています。又、休憩室を設け、職員がゆっくり休憩できるようにし、勤務表の作成時には希望休みをあらかじめ取り、休み希望を尊重したシフト作成を心がけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得に向けた研修や講習への参加に職員間で協力しながら参加できるように努めています。又、法人内でも職員の経験に応じた研修を行っていく予定です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	自社内での管理者が集まっての勉強会や、地域の施設の集会、地域包括の研修会等にも積極的に参加し、法人内・外の交流に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約前より御家族様や御本人との面談はしっかりおこない、必要であれば、何度でもお話しをしたり、実際にホームを体験していただく等、不安なくサービスを利用して頂けるように努めています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	必要であれば、何度も面談を行ったり、ホームを見学しに来て頂いたり、不安な点、要望等にもしっかり耳を傾け、不安なくサービスを利用して頂けるように努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様や御家族様から話を伺い、負担が無いよう、訪問歯科・訪問美容室・訪問マッサージ等が利用出来る事を伝えていきます。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	其々の利用者様の出来る事・出来ない事を確認し、職員間で情報交換を行い、統一した支援内容で御本人の負担が無いよう、お手伝いして頂いています。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン作成時や、内容確認の際に御家族様よりアドバイスを頂いたり、付け加えるべき内容は無いかの確認等をしたり、その他にも日常の様子からアドバイスを頂いたりしています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪された方はお名前を伺い、御家族様へ伝えていきます。又、お帰りの際には利用者様と共にお見送りし、また来訪して頂けるように声を掛けています。	家族や親類、友人知人の面会も多くあり、関係が途切れない支援に努めている。趣味の絵を描く、好きな書籍の定期購読、子供の経営するお店に出かける、家族と一緒に墓参り、お酒やたばこをいつもの店に買いに行く等、様々な場面でその人らしい生活が続いている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日、利用者様が好まれるレクリエーションを行い、2階ユニットとの交流も大切にしています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ移動することになっても、必要な情報提供はしっかり行い、利用者様が新しい施設でもこれまで通り過ごせるように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御本人の今までの暮らし・趣味・想い等を伺い、御家族様からも情報を頂くように努めています。	センター方式の活用で利用者の細かな情報を収集し、定期的に見直しもしている。モニタリングの時期には事前に家族と話し合い、担当者からの経過を報告する事で、意向を聞いている。利用者本人が意思表示できる方には、直接聞く事で本人本位に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅での担当のケアマネージャーさんから情報を頂き、職員間で情報を共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録にて、日々の様子や気づいたことを記し、毎日の申し送りや日々の業務の中で職員間で情報を共有することで、利用者様の現状を把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスの際に介護計画の評価を行い、各職員で計画を作成し、ケアマネージャーがまとめることで介護計画を作成しています。	毎月開催のミーティングで居居担当者が中心になり、話し合い現状を検討する事で計画作成に関わっている。職員からの意見をすり合わせ、現状に即した計画となるようにケアマネージャーが作成している。	介護計画書のサービス内容に対して連動する記録の仕組みはあるが、目標に対して連動する記録につながっていない為、効果的にモニタリング・評価が出来るように、目標の明確化と記載方法の検討を期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子の他、ちょっとした変化や気づきを記録に残すようにしています。又、支援内容が介護計画の内容に沿っているかを確認するために介護計画に番号を振り、記録に残すようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、御家族様には予め一言伝えて下されば、自由に外出や外泊をして頂いています。又、他のサービスを利用する際には情報提供や確認を行い、納得されてから利用出来るように支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みの関係を大切にしており、入居後の病院もそれまでの係りつけ医を継続して利用するようにしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関との連携を大切にしつつ、御家族や御本人の希望を尊重しながら、それまでの係りつけ医との関係を大切にしています。又、緊急時や夜間帯でも適した医療処置が受けられるよう、対応しております。	かかりつけ医の継続で、基本的にホームが受診支援している。緊急時や入院の可能性がある時は、家族と病院で待ち合わせ一緒に説明を聞いている。往診対応の利用者もあり、利用者に合わせて医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の利用者様の状況を良く観察し、何か変化があれば、報告、相談と、緊急時には看護師への連絡体制を確立しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院へは必要な情報を提供し、ケースワーカー・看護師との情報の交換を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様・御家族様の希望を尊重しながら、医師や看護師、職員と十分に話し合い、出来る限りの対応をしていきたいと思っています。	医療連携体制による方針・指針が説明書に明記され、同意が得られている。終末期の対応については、このホームで出来る最大のケアについて説明し、利用者家族がホームに望む内容と課題を十分に話し合い、主治医と医療関係者が連携を取って想いに応える体制となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が救命救急訓練に参加しており、急変時の対応の手順は心得ています。又、緊急時の連絡体制も確立しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災想定避難訓練を、日中帯と夜間帯を想定した訓練を毎年2回行っています。その際には地域の方にもご協力いただいたりしています。	年2回、消防と設備会社の立会いの下、日中・夜間想定避難訓練を行っている。地域の方にも参加してもらい、見学や見守りから避難の大変さを確認してもらっている。通報訓練や、消火訓練等も行い、立地の中で予想される災害についても話しあっている。	避難訓練を行う事で、職員の防災や対応への意識を高めている。想定される災害の更なる検討と、利用者の安心を確保する為の食料や水、寒さを凌ぐ防寒用品の備蓄についても期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から利用者様個人個人の人格を尊重した声掛けや対応を心がけています。	職員は、利用者の誇りや自尊心を損ねる事のない声かけや対応に心がけている。話し合いでは居室番号を言う事でプライバシーに配慮し、個人情報の管理や各書類も整理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ利用者様が自己決定できる機会がある様にゆっくりと話を聞き入れ、想いが実現できるよう対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活の中で、利用者様一人一人の想いを大切に、意向を実現できるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様にその日に着たい服を選んで頂き、身だしなみ、おしゃれに気を配れる様配慮しています。		

ふれあいの里 グループホーム 花みずき

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各利用者様の食べる力に合わせ、普通食だったりお粥やペースト状のものにしたりしています。また、利用者様の出来る事を見極めて、お手伝いして頂いています。	献立は専門職が立てており、バランスのとれた内容となっている。業者が食材を搬入し、職員と利用者が一緒に調理したり、片付けを手伝う場面が見られる。イベント等の変更や誕生日、外食の機会も作り、食事が楽しくなるように努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、各利用者様の食事量・水分摂取量を記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、口の中を清潔に保っています。また、なにか異状があれば、直ぐに協力歯科医院に往診に来て頂ける体制を取っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各利用者様の排泄パターンを記録し、トイレへの声掛けを行うようにしています。	職員は全員の排泄パターンを把握する事で、夜間も可能な限りトイレでの排泄を目標に誘導している。言葉の工夫や筆談で、相手のプライバシーに配慮した対応をしている。水分調整の取り組みで、便秘がちな利用者が改善した例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	おやつに乳製品を食べていただいたり、水分摂取量に気を配ったり、歩行運動や腹部マッサージ等を行い、なるべく自然排泄が出来るように対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴に関しては、利用者様の希望やしばらく入浴していない人を優先に対応しております。又、病院通院の前の日に入浴して頂くようにしています。	毎日入浴の機会があり、週2～3回の入浴を基本的に希望を聞きながら午後の時間帯に支援している。入浴拒否傾向の利用者には、職員間の協力で雰囲気を作ったり、声かけの工夫で入浴に誘っている。花神楽へ行って温泉入浴する機会もあり、家族と一緒に楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リビングでも居室でも自由に休んで頂けるよう対応しています。お休みになりたい方は自由に休んで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の際には誤薬等が無い様、職員二人で確認し、服薬して頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者様が好まれる事を把握し、カラオケをしたり、散歩に出て外気浴を楽しんで頂いたりしています。		

ふれあいの里 グループホーム 花みずき

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気良い日はホームの外に出て外気に触れて頂ける時間を大切にしています。又、御家族様と自由に外出して頂ける体制を取っています。	ホームでは、毎日のように散歩や日光浴で出かけるようにしている。季節毎に花見や祭り、花フェスタに出かけ外出を楽しんでいる。花神楽へ家族と一緒に食事と入浴に出かけ、回転寿司の外食も楽しみにしている。ホーム内では敬老会、クリスマス会、ミニ運動会の開催で身体を動かし、全員で盛り上げる機会も計画している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持されている方は居ますが、使用されていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族様とも話し合い、利用者様が希望される場合は電話や手紙のやり取りが出来るよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様にとって不快となるような光や音などが無い様、業務上でも常に注意しています。又、ホーム内に居ても季節を感じて頂けるよう、装飾品に季節感を出すよう心掛けています。	各ユニットは利用者が暮らし易いように、居室からリビングに向け歩行の安全に配慮された使用であったり、ベランダで好きなプランターの花壇が出来たり、ホール内の多くの写真の掲示、日当たりのよい窓からは、季節を感じる事が出来る風景が心を和ませてくれる。安全の為に灯りや、消火器の配置が判り易いように、万が一の時の為に工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各利用者様がそれぞれくつろいで過ごして頂けるよう、椅子やソファの配置を配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ、ご自宅に居る時に使用されていた物をそのままホームでも使っていただいて、馴染みの物を使うことで安心感を保つ事が出来るよう心掛けています。	居室にはクローゼットとカーテンが取り付けられてあり、室内は過ごしやすく整理されている。配置してある家具類の他、馴染みの小物類が持ち込まれ、壁には利用者の作品や家族の写真、誕生日の色紙や敬老の日に送られた感謝状などで、その人らしい居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各利用者様の残存能力を活かし、歩行が不安定な方でも捕まれば歩行可能な場合は家具等の配置を考え、掴まりながら歩行できるように配置するなど、できるだけ自立した生活が送れる様に配慮しています。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0192902104		
法人名	日総ふれあいケアサービス 株式会社		
事業所名	ふれあいの里 グループホーム 花みずき		
所在地	旭川市神居7条18丁目377		
自己評価作成日	平成25年10月16日	評価結果市町村受理日	平成25年11月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「1階 ユニット」に同じ

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0192902104-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成25年10月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(2階アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型を取り入れた理念に基づいて、地域の方々を交流を持っています。又、ホーム内に理念を掲示するだけでなく、各職員が理念カードを携帯するようにしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、町内の行事にも参加させて頂き、交流を保っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて町内会長様・町内の役員の方々を通じ、独居情報や介護相談を受けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括支援センター職員・町内の役員・御家族様が参加され、活動報告や地域での災害に関するご意見やご要望を聞き、サービスの質の向上に繋がうよう意見交換しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所での申請手続きや、保護課の職員の方が来訪された時にホーム内の様子を伝えたり、包括支援センターとの繋がりの中で、介護保険上の相談もしています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加する機会を設け、資料を全職員に配布し、参加者が主体となった勉強会を開き、周知に努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会に参加し、虐待や不適切ケアに関して学ぶ機会を作るようにしています。又、月に一度のミーティングで、不適切なケアはないかを確認するようにしています。		

ふれあいの里 グループホーム 花みずき

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修には職員が交代で参加出来るように配慮し、参加後は資料を全職員に配布して、学んだことを全員で共有出来るようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に十分時間をとり、必要であればご自宅に伺い、話し合いの機会を作るなどして、御家族様・利用者様に不安の無いよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様や御家族様が気軽にご自分の想いを伝えることが出来る話しやすい関係を築くように努めています。又御家族様が来訪された際や、電話での近況報告時にご意見やご要望を聞き取っています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	不定期の面談や、ミーティングの際に職員の要望や提案を聞き取り、運営に活かすようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	休憩時間の確保や事前に「夜勤回数・休みの希望」を聞き、勤務表の作成を行っています。又、面談等の機会を設け、職員が意見を述べやすい環境整備を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の希望を含めた外部研修への参加、又は資格取得に向けた外部勉強会の案内をしたり参加するように助言したりしています。法人内での研修の年間予定ができており、全員で参加する予定になっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の研修で他事業所との交流があり、その他にも地域の施設が集まっての研修会や、包括支援センター主催の勉強会等に積極的に参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約前より御家族様や御本人との面談はしっかりおこない、必要であれば、何度でもお話しをしたり、実際にホームを体験していただく等、不安なくサービスを利用して頂けるように努めています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	必要であれば、何度も面談を行ったり、ホームを見学しに来て頂いたり、不安な点、要望等にもしっかり耳を傾け、不安なくサービスを利用して頂けるように努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人や御家族様からのお話を伺った上で訪問歯科や訪問理容、マッサージ等の必要な支援に繋がっています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御本人の出来る事を見極め、食事の盛り付けやお皿洗いなどを手伝っていただいています。お手伝いをして頂いた後には必ず感謝の気持ちを伝えています。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御本人や御家族様の希望を聞き取りるのはもちろん、御本人の情報を御家族様から頂くことで、情報を介護計画作成に活かしています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人や御家族様の希望に合わせ、御家族や御親戚との外出を支援したり、御家族のお店に出かけたりと、馴染みの関係を継続していけるような支援に努めています。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の個性を理解した上で、職員を含め、皆さんで交流出来るように努めています。又、ユニット間でも利用者様が気軽に交流出来るように心がけています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も御家族からの要望におじて相談などを受けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご自宅での生活がそのままホームでも送れるように事前に情報を得て、趣味を継続して行っていただいたり、喫煙や飲酒も自由に楽しむことが出来るように対応を検討するようにしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅での担当のケアマネージャーさんから情報を頂き、職員間で情報を共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の生活スタイルを尊重し、各利用者様が自由に一日一日を過ごして頂けるケアを提供しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスでの職員間での話し合いはもちろん、御家族からの希望・要望・又は情報を取り入れ、それを計画作成担当者がまとめ、介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子の他、ちょっとした変化や気づきを記録に残すようにしています。又、支援内容が介護計画の内容に沿っているかを確認するために介護計画に番号を振り、記録に残すようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、御家族様には予め一言伝えて下されば、自由に外出や外泊をして頂いています。又、他のサービスを利用する際には情報提供や確認を行い、納得されてから利用出来るように支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事や日常生活を通じ、地域住民やボランティアの方との交流を持つ機会を作っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や御家族の希望で、在宅時期からのかかりつけの医療機関への受診を継続し、緊急時や夜間対応についても相談するようにし、柔軟な対応が出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様に変化があれば、すぐに看護師から指示がもらえるように普段からの利用者様の状態を報告するようにしています。急変時には24時間連絡を取り合える体制ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には必要な情報を医療機関へ提供し、御家族とも連絡を取り合いながら早期に退院が出来るように努めています。又、職員も自主的に利用者様の様子を見にお見舞いに行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様・御家族様の希望を尊重しながら、医師や看護師、職員と十分に話し合い、出来る限りの対応をしていきたいと思っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が救命救急訓練に参加しており、急変時の対応の手順は心得ています。又、緊急時の連絡体制も確立しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人内で統一された消防計画書があり、年2回、日中を夜間帯を想定した避難訓練を実施しています。地域の方にもご協力を頂いています。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各利用者様の人格を尊重し、声掛けや関わり方等を確認し、ケアにあたっています。又、個人情報決められた場所に保管しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人の意思を大切に、その意思に沿って自己決定が出来るようにしています。日中は各利用者様お好きな空間(場所)でお好きな様に過ごされています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各利用者様の生活スタイルを大切に、利用者様のペースで、自由に過ごして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の衣類をご自分で選んでいただくのはもちろん、毎日の髭剃りや整髪。又、月に一度の訪問理容を利用するなど、身だしなみ、おしゃれが楽しめる支援を心がけています。		

ふれあいの里 グループホーム 花みずき

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各利用者様の食事摂取量や食事形態に合わせ、御自分の力で食べる事が出来るように支援しています。また、食事の盛り付けや、食器拭きなど出来る事は利用者様にもお願いしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録を通して、食事量や水分摂取量を把握し、個々に応じた調整を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人、口腔ケアを大切にしています。又、何か口の中のトラブルがあれば協力歯科医院に治療を依頼しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録を付ける事で、一人一人の排泄パターンを把握し、なるべく失禁の無い様、トイレで気持ち良く排泄していただける様にトイレ誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や水分の摂取を心がけ、又腹部マッサージをするなどしてなるべく自然排便が出来るように支援しています。便秘がちな方には医師を相談しながら薬の量を調節し、便秘の予防に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決めておらず、御本人の希望や、入浴回数が少ない方。又、翌日が病院受診の方等に気持ち良く入浴して頂けるよう支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室やリビングの温度、湿度を調節し、音や光の刺激を避け、居室で休まれるときはもちろん、リビングでウトウトされている時も気持ち良く、安心して休んで頂ける空間作りを心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者様のお薬の説明書を職員のしやすい場所に保管しています。又、服薬の際には誤薬等が無い様、職員二人で確認し、服薬して頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者様の身体状況や生活歴・既往歴・性格を把握し、個々の楽しみを理解した上で、ホームでのレクリエーションや、家事に関わる機会を作っています。		

ふれあいの里 グループホーム 花みずき

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ベランダに出て日光浴をしたり、散歩をしたり、病院受診の後に御本人の希望に沿って買い物に出かけたりしています。又、御家族との外出も支援しています。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が可能な方は自室に金庫を置き、そこで管理されています。嗜好品や病院の受診代等、御自分で支払われています。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人の希望があれば、時間帯を見ながら対応したり、御家族様からの差し入れや贈り物があつた際にお礼の電話をしたりする支援をしています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人の時間をゆっくり過ごして頂けるように共有スペースは明るく温かく穏やかな空間になるよう配慮しています。利用者様も共有スペースでのんびり過ごされ、うたた寝をされる方もいらっしゃいます。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室以外でも一人に慣れる空間や、気の合う利用者同士で過ごせる空間を椅子やソファの配置にて作っています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が使い慣れている物や、家具、寝具等を持ち込んで頂き、少しでも馴染んだ空間に近づき、御本人様が安心して、居心地のいい空間になるように工夫し、御家族様にもご協力を頂いています。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自力でベッドから起き上がれる様に手すりの設置や家具の配置を工夫したり、歩行しやすいように廊下には手すりが設置してあります。又、トイレの場所がわかる様に大きな表示板を作っています。			

目標達成計画

事業所名 ふれあいの里 グループホーム花みずき

作成日：平成 25年 11月 19日

市町村受理日：平成 25年 11月 20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画書のサービス内容に対して連動する記録の仕組みはあるが、目標に対して連動する記録につながっていない。	効果的にモニタリング・評価が出来るように目標の明確化と記録の付け方を改善する。	記録用紙を変更。目標に対して、サービスがどのように連動しているかを分かりやすく記録できるものにする。又、記録の付け方について、職員に研修への参加を促していく。	3ヵ月
2	35	避難訓練等、防災に対する意識はあるが、万が一災害があった際の、非常用の食糧や水、又は毛布等の防寒具の備蓄がない。	万が一の際の為の食糧・水・防寒具を備蓄しておく。	本社とも相談し、食糧等の備蓄方法について検討する。又、毛布等の防寒具についても検討。地域の方や利用者御家族にもご協力をお願いできないか相談していく。	3ヵ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。